



T-Lion Voice Home

T-Lion (The Triumphant Lion : ザ・トライアンファントライオン)
※Triumphant=「勝利を得た」「意気揚々とした」の意

第15号

- 2022年度 社会貢献活動に関する各種の取り組み
- 2022年度 公開講座等実施報告

スポーツSDGsの推進

「スポーツの持つ、人々を巻き込む力や人を集める力を活用し、SDGsの認知度を上げ、自分事として捉えてもらうことでSDGsの達成に貢献していく…」これは鈴木スポーツ庁前長官が、東京オリンピック・パラリンピック開催を控え、スポーツを通じた国際貢献の政策の一つとして述べた言葉で、スポーツ庁Webサイト「スポーツSDGs」の中で紹介されています。またスポーツとSDGsの関わりは、(独)日本スポーツ振興センターが「SDGs達成へ向けたスポーツの活用ガイド」(山田、Sanders: 2022年3月)を示し、「どのようにすればスポーツがSDGsの達成へ向けて最大限貢献できるのか」を解説しています。

SDGs(持続可能な開発目標)は、ご存じのように2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標であり、日本でも官民が一体となってその達成に向けた取り組みを行っているところです。本学の社会貢献推進事業でも、2021年度より事業方針・事業計画にSDGsが表記され、その取り組みがはじまっています。

現在の社会貢献推進事業は、「日本体育大学グランドデザイン2018-2022(中期目標・計画)」の基本施策の一つである社会貢献基盤の整備計画を反映する取り組みを、各年度の事業方針・事業計画について世田谷区や青葉区を中心とした横浜市の自治体等関係者を含めた地域社会連携本部会議において決定し、継続的に推進してきています。その取り組みは、「体育・スポーツ活動支援」、「教育活動支援」、「地域ボランティア等」、「地域美化活動・防災訓練」、「公開講座」、「体力測定」などです。これら具体的行動により、あらゆるステークホルダーとの関係強化を図るとともに、国内外の諸機関との連携・協力関係を構築し、本学の教育・研究活動の成果、人的・知的財産などを還元してきました。

この取り組みを今後も持続していくために、これまでの活動を検証しながらも、世界的な行動ともなるSDGsについて、教職員・学生、関係者が、人々を巻き込む力や人を集めるスポーツの力を活用し、各行動の中で認知度を上げる広報的な取り組みも期待されます。

昨年、FIFAワールドカップカタール2022の日本チームやサポーターの美化に関する取り組みが大きな話題となりました。直接的なSDGsの行動ではないかもしれませんが、これに関わり健志台キャンパス内で爽やかな場面に遭遇しました。それは通路に落ちていたゴミを、ひとりの男性学生が拾って分別用ゴミ箱に捨てる場面です。これまでは、残念ながら素通りしていく人が多いという経験しかなかったため、非常に心躍るものでした。このような些細で身近な行動からでも、健全な社会の維持に貢献できるのではないのでしょうか。



社会貢献推進機構 社会貢献活動委員
体育学部 教授

田中 信行

児童スポーツ教育学部でも日本体育大学地域スポーツコーディネーター(日体大CSC)資格制度が始まります！

日本体育大学地域スポーツコーディネーター資格は本学独自の資格で、スポーツ文化学部、スポーツマネジメント学部へ続き、児童スポーツ教育学部が2023年度入学の学生からスタートします。児童スポーツ教育コースでは「運動部活動指導サポーター」、「児童体育活動サポーター」、幼児教育保育コースでは「幼児運動遊びサポーター」が取得できます。所定の科目を修得した学生に付与する資格で、早ければ2年で取得できます。身体の仕組み、心身の発育発達、トレーニング学、地域社会におけるスポーツの役割などの専門知識を獲得した学生が、運動実技や実習で身に付けた表現力・行動力を活かして、学校や地域社会で体育・スポーツ活動や運動遊びのサポートをします。

社会貢献活動に関する各種の取り組み

体育・スポーツ活動支援

競技大会の運営補助、教育現場等における水泳指導補助員・部活動支援・演技披露、老人福祉施設における筋トレ講師に延べ490名を派遣しました。世田谷区立中学校陸上競技大会、世田谷区小学校連合運動会では、陸上競技部や児童スポーツ教育学部の学生が会場設営、計測等を行いました。マラソン大会(横浜、青葉区民、湘南国際、ふるさと等)では、沿道整理、応援パフォーマンス、ペースメーカー・伴走、救護ボランティア等の運営補助に貢献しました。あおば支援学校では、パラスポーツイベントの補助を行いました。体操部は、私立中学高等学校の100周年記念体育祭に招かれ、模範演技を披露しました。また、フィットネスクラブやラグビー国内リーグ(リーグワン)ホストゲームの運営補助には、地域ボランティア実習(スポーツマネジメント学部)履修生が参加しました。



教育活動支援等ボランティア

教育活動支援としては、世田谷区・横浜市をはじめ、目黒区・北区の教育委員会、東京学校支援機構(TEPRO)、各学校から宿泊行事引率補助や年間を通して学習支援、日本語の会話指導、配慮を要する児童・生徒への支援依頼があり、学生を派遣しました。多岐にわたる実践的な活動は、教職を志す学生にとって貴重な機会です。インターンシップや地域ボランティア実習(スポーツ文化学部)履修生が実習先として参加することもありました。その他、地域施設における児童の見守り、地域の秋まつりでレスリング部がエッサッサ(※)を披露しました。教育活動支援等ボランティアには267名派遣しました。※日体大独自の応援スタイル



地域美化活動

学友会総務部を中心にクラブ・サークル学生が行う清掃活動「クリーン作戦」は、海浜実習地の千葉県・岩井海岸で1回、駒沢公園で3回(計176名)、東京・世田谷キャンパス周辺では、桜新町商店街ライトアップイベントでの清掃に寮生16名、古着・古布回収に寮生・人材バンクから2回(20名)、横浜・健志台キャンパス周辺では、隣接するグリーンヒル鴨志田西団地自治会との清掃活動3回(硬式野球部、陸上競技部、ソフトテニス部計59名)、青葉台商店会フラワーロード活動2回(レスリング部、硬式野球部計19名)行われました。



防災訓練等

大学と横浜市青葉区との災害対策に関する連携協定及び隣接する自治会との減災応援覚書に基づき、地域・行政が連携して地域防災力を向上し、減災を目指す実践的な訓練を実施しています。今年度は、台風や新型コロナウイルス感染症まん延により、4年ぶりに規模を縮小して11月5日(土)に実施しました。初期消火訓練、心肺蘇生法とAED取扱訓練、避難所における段ボール間仕切りの設営デモを行い、近隣6自治会より15名が参加しました。また、横浜市と連携し、地域防災の担い手として活躍できる人材育成プログラムを本学にて開講しました。その他、本学が所有する救急車に赤色灯が付き、緊急走行ができるようになりました。世田谷区との協定に基づき、世田谷区の要請に応じて、災害時の傷病者または感染症患者を医療機関へ搬送します。



公開講座

「公開講座等の実施に関するガイドライン」に基づき感染症対策を行って開催しました。参加人数は延べ1507名。昨年度から継続して、筋力トレーニング、防災関連講座、膝痛・腰痛予防体操、エアロビクスのほか、新たに高齢者の救急医療、テーピング、ウォーキング、キャンプをテーマとした講座や小学生を対象とした短距離走教室、ゴールデンエイジの身体づくり講座、フェンシング教室(小中学生対象)、中高生を対象としたスポーツデータをういたExcel講座等全19講座を開講しました。また、「アスリートトークセッション」は、白井健三(助教・体操競技)、文田健一郎(卒業生・レスリング)、内藤利貴(卒業生・セパタクロー)、高橋幸平(4年・パラアルペンスキー)を迎え、杉田正明教授のファシリテーションにより、競技経験を踏まえた悩みの克服方法等が語られました。「今後の教育展望を探究する」は、常盤豊元国立教育政策研究所長・元文部科学省高等教育局長をお迎えし、教育関係者を対象に、新学習指導要領の全面实施やGIGAスクール構想等の推進とともに、学校における働き方改革などの施策が展開される中、これからの学校教育において大切にしたいことをご講演いただきました。



社会貢献活動 (ボランティア)の 依頼について

地域や学校等で体育・スポーツの各種活動などにおけるボランティア派遣をご希望される場合は、本学ホームページ(<https://www.nittai.ac.jp/>)にアクセスし、「大学案内」→「大学の取り組み」→「ボランティア派遣」から「社会貢献推進事業依頼書」をダウンロードし、必要事項を記入の上、メールまたはFAXにてご依頼ください。なお、依頼書をご送付いただいた後からお返事までは、通常1〜2週間要すること、またご依頼行事の内容によっては、派遣そのものが困難になることもありますので、予めご理解・ご了承ください。

体力測定

今年度は、40歳以上(昨年度は65歳以上)を対象に、昨年度より定員を約2倍に増やして事前申込制(一部飛び入り参加枠あり)で実施しました。測定内容は、①形態測定 ②血管年齢測定 ③全身反応時間 ④30秒椅子立ち上がり ⑤握力 ⑥8フィート歩行 ⑦長座体前屈 ⑧2ステップテスト ⑨6分間歩行 ⑩骨密度測定 ⑪認知機能測定 ⑫遺伝子検査(希望者のみ) ⑬カウンセリング(希望者のみ)。11月4日(金)、5日(土)、6日(日)に横浜・健志台キャンパス、11月12日(土)、13日(日)に東京・世田谷キャンパスで実施し、計378名の参加がありました。測定は、体育研究所の教員のほか、ゼミ生、人材バンク登録学生が行いました。体力測定の結果は、会場でお渡しします。同一地域で暮らす人々の平均的な体力水準と本人の経年変化を比較できるようにしています。さらに、体力測定で得られた結果の中から、体力、認知機能、血管機能などの関連性について年代別に比較検討し、研究発表などを行っています。

参考：「日本体育大学体育研究所雑誌」第46巻(日本体育大学HP公開)



日体大スポーツフェスタ (小学生向けスポーツ体験教室)

「日体大スポーツフェスタ」は小学生対象のスポーツ体験教室で、12月10日(土)に横浜・健志台キャンパス、12月24日(土)に東京・世田谷キャンパスで開催しました。大学HPや地域広報誌への掲載のほか、近隣の小学校にチラシを配布しました。申込多数のため、一部抽選になりましたが、計259名の児童が、野球、ラクロス、ダブルダッチ(2本の縄を使う縄跳び)、レスリング、ソフトテニス、ソングリーディング(チアダンス)、少林寺拳法、アルティメット、新体操、ハンドボール、ニュースポーツの中から3～4種目、約2時間かけて体験しました。体験教室の指導や児童の引率は学生が担当しました。体験後には日体大マスコット「レオ丸」と一緒に記念撮影をする姿も見られました。アンケートより「知らないスポーツだったけど、やってみたら楽しかった。」(3年男子)「学生の方が優しく丁寧に教えてくれて楽しくスポーツができた。」(4年女子)「学生さんが分け隔てなく話しかけて楽しませてくれた。テニスの学生さんは短い時間で上達させてくれた。(中略)日体大の大ファンになり、これから学生を熱く応援していきたい。」(1年男子保護者)(抜粋)



その他トピックス

●サッカー部に感謝状を授与

令和3年度にサッカー部が実施した地域社会貢献活動の功績を称え、日本体育大学社会貢献推進機構は、令和4年3月31日付けで感謝状を授与しました。学校付近の交差点での小学生見守り活動、特殊詐欺撲滅キャンペーンの啓発活動、大学キャンパス近隣の清掃活動など地域に根ざした活動を行いました。また、本学横浜・健志台キャンパスは、令和4年3月23日に、地域防犯に尽力した人や団体に贈られる神奈川県警察本部長褒賞を受賞しました。

●第59回体育研究発表実演会

「勇往邁進」をテーマとし、12月18日(日)に佐賀県「SAGAサンライズパーク総合体育館」で開催され、2000名の観客の前でエッサッサ、体操、体操競技、チアリーダー、トランポリン、集団行動、新体操、武道(剣道・空手・少林寺拳法)、フットサルの各団体が、日頃の練習の成果を披露しました。また、体育研究発表実演会の前日、翌日の2日間は、佐賀県内の小・中・高校生を対象に空手道、剣道、フットサル、少林寺拳法、新体操、エッサッサ、チアリーダー、集団行動のワークショップの他、オリンピックの講演を開催し、各会場は盛況のうちに終了しました。

●青葉6大学連携特別講座

青葉区と区内6大学との協定による連携事業の一つとして、各大学の特色を生かした講座は、昨年に引き続き、オンライン形式で開催されました。本学は、12月18日(日)に長沼俊夫教授が「学校教育の不易と流行～障害のある子どもの教育から考えてみよう～」と題し、障がいのある子どもの教育の歴史を通して、現代から将来に向けて学校教育に求められることや期待されることを講義しました。

●事業委託

本学が持つ知的・人的資源を活用し、様々な分野での運営管理等業務を受託しています。東京都スポーツ文化事業団「誰もが楽しめるスポーツ教室」及び「誰もが楽しめるスポーツ講習会」、中央区「スポーツの楽しさ発見事業」、足立区「幼児期の運動習慣向上のための運動遊び実施」において、児童スポーツ教育学部の教員・学生を派遣しました。(延べ180名)

●自治体連携協定推進事業

学校法人日本体育大学は「体育・スポーツ・健康づくり」の各分野における一層の発展と更なる社会貢献をはかることを目的に、全国75の自治体と連携協定を締結しています。令和4年度は自治体と連携し、スポーツ指導者研修会、競技クラブの児童や生徒を対象にしたスポーツクリニック、未就学児及び保護者を対象とした運動遊び講座、本学における体験講座等24事業を展開しました。



2022年度 公開講座等実施報告

場所	講座名	講師	日時等	受講者数
世田谷	小学生の短距離走教室 スポーツ科学で速く走るコツを身に付ける	児童スポーツ教育学部 助教 鈴木 康介	①5/14(土) ②5/21(土) ③9/17(土) ④11/20(日) 10:00~11:30 小学生 ¥500	①17名 ②24名 ③20名 ④17名
世田谷	オリンピック選手が教える フェンシング体験教室 フェンシングの魅力を学び、体験する	スポーツマネジメント学部 教授 依田 充代 五輪選手 桐谷 乃宇奈 徳南 聖太	①5/21(土) ②1/21(土) 14:00~15:30 小学生、中学生 ¥1,000	①20名 ②20名
健志台	スポーツ救急 VRを使用した救命蘇生講習会 最新情報の提供、最新機器を使用した講習	保健医療学部 准教授 鈴木 健介	①5/22(日) ②9/4(日) 10:00~11:30 一般、中学生、高校生 ¥1,000 小学生 ¥500	①22名 ②32名
世田谷	らくらくエアロビクス 楽しく心地よい全身運動	非常勤講師 三矢 八千代 大津 桂子 山口 圭子	①5/28(土) ②6/25(土) ③7/30(土) ④9/24(土) ⑤10/29(土) ⑥11/19(土) ⑦12/11(日) 10:30~12:00 一般(中学生以上) 各回¥1,000	①23名 ②23名 ③17名 ④25名 ⑤22名 ⑥21名 ⑦33名
世田谷	トレーニングのすゝめ ①③有酸素運動 心拍数を指標としたランニング ②④筋トレの基礎 基本的な筋トレ方法	体育学部 准教授 菊池 直樹	①5/28(土) ②6/25(土) ③11/19(土) ④12/18(日) 14:00~16:00 一般、高校生 各回¥1,000	①20名 ②25名 ③18名 ④19名
健志台 世田谷	① 高齢者の救急医療を考える ② 高齢者の地域救急医療を考える 現状と課題、備え等の6つのテーマを講師が講演	保健医療学部 教授 小川 理郎 准教授 中澤 真弓 助教 成川 憲司 救急救命専門指導教員 4名	①横浜・健志台 6/11(土) ②東京・世田谷 12/11(日) 9:00~12:30 一般、中学生、高校生 ¥1,000	①31名 ②27名
世田谷	膝痛さようなら体操教室 膝痛の予防・改善を目的とした自宅のできる体操	保健医療学部 教授 伊藤 諒 柔道整復師 8名	6/19(日) 10:00~11:30 一般 ¥1,000	19名
世田谷	アスリートトークセッション 本学ゆかりの選手による座談会	体育学部 教授 杉田 正明 白井 健三 文田 健一郎 内藤 利貴 高橋 幸平	6/22(水) 18:30~20:00 一般、中学生、高校生 ¥1,000	58名
世田谷	ケガの予防トレーニングと 簡単テーピング講座 運動パフォーマンスサポート方法を学ぶ	保健医療学部 准教授 上倉 将太	7/2(土) 14:00~15:30 一般、中学生、高校生 ¥1,000 小学生 ¥500	21名
世田谷 オンライン	筋トレ塾 2ヶ月間、週2回の自重エクササイズ	体育学部 准教授 菊池 直樹	7/19(火)~9/10(土) 事前・事後測定あり 毎週火・木曜日18:00~、毎週土曜日10:00~ 一般 無料 ①オンライン ②対面	①27名(延400名) ②17名(延240名)
世田谷	スポーツデータ分析体験講座 Excelを使って自分の運動測定値を分析	体育学部 教授 大石 健二	8/6(土) 13:00~16:00 中学生、高校生 ¥1,000	9名
健志台	今こそチャンス! ゴールデンエイジの身体づくり ～足裏を刺激してバランス能力をUPしよう～	保健医療学部 教授 伊藤 諒 柔道整復師 7名	8/21(日) 11:00~12:30 小学4年生~6年生 ¥500	17名
健志台	災害時の対応講習会 災害図上訓練DIG 街の特徴や危険予測箇所を地図に書き込み街を知る	保健医療学部 准教授 鈴木 健介	9/4(日) 13:00~14:30 一般、中学生、高校生 ¥1,000 小学生 ¥500	28名
健志台	災害時の対応講習会 避難所運営HUG 避難所運営を模擬体験するカードゲーム	保健医療学部 准教授 鈴木 健介	9/4(日) 16:00~17:30 一般、中学生、高校生 ¥1,000 小学生 ¥500	30名
オンライン	健康・社会文化考シリーズ 「健康・社会・文化を考える。」 ①子どもの栄養と健康 ②健康寿命の延伸に向けて	保健医療学部 教授 久保山 和彦 助教 鴻崎 香里奈 体育学部 助教 松本 彰之 准教授 鹿野 晶子 准教授 田村 優樹 聖リリアン医科大学講師 水嶋 崇一郎	①10/9(日) ②12/17(土) 10:00~12:00 一般、高校生 無料	①18名 ②24名
健志台	たのしくて安全なキャンプ講座 基本的な技術と正しい知識を学ぶ全3回の講座	スポーツマネジメント学部 助教 高荷 英久	①10/15(土)10:00~12:00 ②11/19(土)10:00~12:00 ③11/19(土)14:00~16:00 一般、中学生、高校生 ¥1,000 小学生 ¥500	①24名 ②25名 ③11名
健志台 世田谷	体力測定 身体を把握し日常生活に活かす測定	社会貢献推進機構 スポーツプロモーション・オフィス	横浜・健志台 ①11/4(金) ②11/5(土) ③11/6(日) 東京・世田谷 ④11/12(土) ⑤11/13(日) 一般(40歳以上、事前予約制) 無料	①80名 ②88名 ③77名 ④69名 ⑤64名
健志台	歩いて健康！元気に楽しく！ 日体大ウォーキング キャンパス内を歩き、正しい姿勢と歩き方を指導	保健医療学部 教授 伊藤 諒 柔道整復師 7名	11/20(日) 11:00~12:30 一般 ¥1,000	17名
世田谷	今後の教育展望を探究する 最新の教育方法や教育行政等について講演	元国立教育政策研究所長 元文部科学省高等教育局長 常盤 豊 元文化学部 教授 後藤 彰	11/20(日) 14:00~16:00 小・中・高等学校教育関係者 ¥1,000	71名
健志台 世田谷	日体大スポーツフェスタ 小学生を対象としたスポーツ体験教室	社会貢献推進機構 スポーツプロモーション・オフィス	①横浜・健志台 12/10(土) ②東京・世田谷 12/24(土) 小学生 無料	①118名 ②141名
健志台	腰痛さようなら体操教室 腰痛の予防・改善を目的とした自宅のできる体操	保健医療学部 教授 伊藤 諒 柔道整復師 8名	1/29(日) 10:00~11:30 一般 ¥1,000	19名
世田谷 オンライン	学術セミナー 本学の研究成果を公開	総合スポーツ科学研究センター 体育研究所 オリンピックスポーツ文化研究所 スポーツ危機管理研究所	①第1回 競技力向上に役立つ「コア」の強化を進めるための 6/2(木)16:40~17:40 体育学部 准教授 大塚 光雄 ②第2回 エキセントリック運動は面白い！ 7/7(土)17:00~18:00 体育学部 教授 野坂 和則 ③第3回 神奈川県藤沢市における地域全体への身体活動促進の取組 7/28(木)17:00~18:00 スポーツマネジメント学部 准教授 齋藤 義信 ④第4回 新興勢力競技大会(GAMEFO)と日本オリンピックの向こう岸 11/25(金)17:00~18:00 中京大学スポーツ科学部 講師 富田 幸祐 ⑤第5回 運動単位活動の解析技術を用いたヒト神経筋調節の理解 1/20(金)17:00~18:00 中京大学スポーツ科学部 教授 渡邊 航平	①135名 ②176名 ③33名 ④17名 ⑤68名

「T-Lion Voice Home」第15号（令和5年2月発行）

発行：日本体育大学社会貢献推進機構 スポーツプロモーション・オフィス

【東京・世田谷キャンパス】〒158-8508 東京都世田谷区深沢7-1-1

TEL：03-5706-0911(直通) FAX：03-5706-0981

【横浜・健志台キャンパス】〒227-0033 神奈川県横浜市青葉区鴨志田町1221-1

TEL：045-507-1263(直通) FAX：045-507-4556

両キャンパス共通メールアドレス：shakaikouken@nittai.ac.jp

